

## 「しらせ」との再会～お爺ちゃんと見た景色～



しらせ5003番目の来場者へ記念品の贈呈  
艦長・宮崎1海佐（写真：右）



コスモくん登場！

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 兼本 貢祐1海佐）は、9月1日（土）と9月2日（日）の2日間、横浜港大さん橋（横浜市中区）にて6年ぶりの砕氷艦「しらせ」の一般公開を実施した。

両日ともに台風21号の影響により荒天予報がされていたにもかかわらず、時折雨の降る岸壁にて傘を差しながら列をなして並んでくれた来場者数は2日間で7,669名だった。

「しらせ」乗組員による特別公開には、2日間で357名もの募集対象者が参加し、一般公開では入れない場所へ案内されたり、艦内喫食したりと、約1時間の見学を終えた募集対象者達の顔がとても充実したように見えた。

一般公開での来場者の中には、「30数年前、子供の頃にお爺ちゃんに連れられて初めて当時の「ふじ」という海上自衛隊の船を見ました」という方や、「平成24年度横浜港での「しらせ」一般公開を見に来た時に買った識別帽です」と、年季の入った識別帽と今回新たに購入した新品の識別帽を嬉しそうに話しながら隊員へ見せていた姿がとても印象的だった。

この一般公開は、よこはまコスモワールド（泉陽興業株式会社）の「北極・南極の氷と流水展」に「南極の氷」を提供するというイベントコラボに併せての入港でもあるので、当日はよこはまコスモワールドのキャラクター「コスモくん」も登場してくれた。「コスモくん」が現れると、長時間並んで疲れていたお子さんだけではなく、大人でも握手を求めたり写真を撮るなどして並んでいる人達に笑みがこぼれた。

また、「しらせ」の番号である5003番目の来場者には「しらせ」艦長（宮崎 好司1海佐）より記念品の楯と帽子が贈呈され、当選した来場者はとても嬉しそうに受け取っていた。

神奈川地本は「今後も、部隊や艦艇などの協力を得て積極的にイベントに参加し、自衛隊へ興味を持ってもらえるような広報活動に努めたい」としている。

## 海自「中級管理講習」で予備自衛官等志願を呼びかけ



予備自衛官等制度について聴講する海自隊員



自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本 貢祐）は、9月6日（木）、海上自衛隊第2術科学校（横須賀市田浦）で実施された「平成30年度第2回中級管理講習」において、海自隊員72名に対する予備自衛官等の制度説明を行い、予備自衛官等への積極的な志願を呼びかけた。

本講習は、3佐以下の幹部及び准・曹の定年退職予定隊員を対象とし、社会への適応性啓発や退職後の生活の安定を図るために必要な知識を付与することを目的として実施されており、神奈川地本は昨年度から本講習において予備自衛官等の制度説明を行っている。

当日は、予備自衛官等の制度、訓練内容等について紹介、特に、即応予備自衛官について、陸上予備自衛官を経ることにより、海上自衛官も志願が出来ることなど、元海上自衛官の志願実績を例示して分かり易く説明した。

また、28年度末及び29年度末にそれぞれ新編された指定部隊である、第302弾薬中隊（武器科）及び第103補給大隊（需品科）の任務や訓練内容を紹介するとともに即応予備自衛官が所属する部隊の職種や訓練出頭する駐屯地の選択肢が逐次拡大していることなどを説明し、予備自衛官への志願及び所属部隊における情報提供を呼びかけた。

受講者の中から、訓練出頭する際の旅費の支給要件などについて熱心な質問が出るなど、予備自衛官への志願に興味を示す者も見受けられた。

神奈川地本は、「予備自衛官等の勢力拡充は喫緊の課題であり、今後もあらゆる機会を活用して、予備自衛官等制度の周知徹底を図っていききたい。志願を迷っている方や制度について詳しく知りたい方は、気軽に地方協力本部に相談して欲しい。」としている。